

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	05	124070	市有財産適正管理事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		4,077	51,669		47,592
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	6,300		6,300
	その他	0	0		0
	一般財源	4,077	45,369		41,292

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標
3 市有財産の適正な管理を推進する

事業開始の背景・経緯
適正な財産の保有量とあり方の検討が求められている。未利用市有財産の売却、貸付を行い、財産収入を増やすとともに維持管理経費の削減が必要である。

事業概要
<p>市有財産の最適利用 51,639千円</p> <p>(1) 公売 公売予定地の測量及び地籍調査、宅地建物取引業団体への売却媒介依頼 1,339千円</p> <p>(2) 旧料亭「まん福」の解体 40,777千円</p> <p>(3) 旧料亭「まん福」跡地活用検討ワークショップ開催業務 206千円</p> <p>(4) 田瀬地域の用途廃止した公共施設のアスベスト調査及び解体実施設計 5,005千円</p> <p>(5) 亀ヶ森小学校改修実施設計 4,312千円</p> <p>公共施設マネジメント計画の推進 30千円</p> <p>公共施設の最適な施設保有量・配置・コストの縮減、平準化の実現のため、令和2年10月に策定した公共施設マネジメント計画の実施計画を推進するとともに、花巻市公共施設マネジメント計画【基本方針編】の改訂を検討する。</p>

担当部署	12150000 財務部 契約管財	担当課長	古川 昌
------	-------------------	------	------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1
<p>市有財産適正管理事業費 51,669千円</p> <p>1. 市有財産の最適利用 51,639千円</p> <p>(1) 未利用の市有財産の売却 1,339千円</p> <p>普通財産の中から、売却可能な財産の選定を行う</p> <p>売却を行うための事前準備として、測量や地籍調査を行い売却価格を決定する</p> <p>土地測量等5件</p> <p>公売公告、立看板の設置など公売PR</p> <p>入札を執行し、落札者に売却</p> <p>入札への申し込みの無かった物件及び不落札となった物件を随時公売</p> <p>随時公売及び売却依頼</p> <p>随時公売するとともに宅地建物取引業団体との協定に基づき、不動産業者に媒介依頼する</p> <p>この仲介により売却が決定した場合は、売買契約手続き及び代金の完納をもって仲介業者へ手数料の支払い</p> <p>(2) 旧料亭「まん福」の解体 40,777千円</p> <p>今後活用が見込まれない旧料亭「まん福」の建物解体工事を行った。</p> <p>(3) 旧料亭「まん福」跡地活用検討ワークショップ開催業務 206千円</p> <p>(4) 田瀬地域の用途廃止した公共施設(4施設)のアスベスト調査及び解体実施設計 5,005千円</p> <p>アスベスト調査 2,332千円</p> <p>田瀬湖交流センター、田瀬湖ふれあいランド、東和いこいの森キャンプ場</p> <p>アスベスト調査及び解体実施設計 2,673千円</p> <p>東和淡水魚栽培センター</p> <p>(5) 亀ヶ森小学校改修実施設計(用途変更に伴う改修) 4,312千円</p> <p>廃校となる亀ヶ森小学校の用途変更及びそれに伴う改修実施設計を行った。</p> <p>用途変更手数料 68千円 改修実施設計(アスベスト含有調査含む) 4,244千円</p> <p>2. 公共施設マネジメント計画の推進 30千円</p> <p>(1) 公共施設マネジメント計画推進需要費</p> <p>事務用品</p> <p>事業内容・公共施設マネジメント計画【基本方針編】の改訂の検討</p> <p>・FM事業の検討(包括施設管理、電力契約見直し等)</p>

令和3年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	02	01	05	124080	庁舎設備等改修事業費

単位:千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		51,621	57,224		5,603
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	30,400	34,400		4,000
	その他	0	0		0
	一般財源	21,221	22,824		1,603

特定財源の内訳					

事業期間	単年度繰返	期間限定	~
------	-------	------	---

部重点施策における目標					
3 市有財産の適正な管理を推進する					

事業開始の背景・経緯					
庁舎は設備改修等を進め、長寿命化を図る。 処理期限が定められているP C B廃棄物を計画的に廃棄しなければならない。					

事業概要					
本庁舎設備改修事業 49,546千円					
・本館照明設備第4期改修(工事)	20,724千円				
・本館給排水工事第3工区(工事)	7,920千円				
・庁舎設備更新等業務委託	2,020千円				
・設計等業務	3,080千円				
・P C B廃棄物処理	14,106千円				
・A E D設置	1,696千円				
大迫総合支所設備改修事業7,678千円					
・電話交換設備更新	7,678千円				

担当部署	12150000 財務部 契約管財	担当課長	古川昌
------	-------------------	------	-----

意見・要望等の状況			

事業手法の詳細1			
1. 本庁舎設備改修事業 49,546千円			
(1) 本庁舎本館照明設備第4期改修 20,724千円 本庁舎の3階(議場を除く)及び地下2階の照明をL E D照明に更新した。			
(2) 本庁舎本館給排水設備改修(第3工区) 7,920千円 管の漏水や詰まりを改善し、便所及び給湯室の設備の改修を行い、衛生的な施設を維持した。 地下2階の配管工事が主であり、本館給排水工事の最終工区である。			
【特定財源】(1)~(2) 合併特例債 28,644千円×95% 27,200千円			
(3) 庁舎設備更新等業務委託 2,020千円			
(4) 設計等業務 3,080千円			
(5) P C B廃棄物処理 14,106千円 市所管施設から生じたP C B廃棄物を適切に処理施設に運搬し処分した。 高濃度PCB廃棄物 処分費 479kg 13,920千円 運搬費 186千円			
(6) A E D(自動体外式除細動器)設置 1,696千円			
2. 大迫総合支所設備改修事業 7,678千円			
(1) 電話交換設備更新 7,678千円 平成16年(2004年)に設置された設備であり、耐用年数を過ぎたことから更新を行った。			
【特定財源】 合併特例債 7,678×95% 7,200千円			